

ツキノワグマ剥皮被害防除対策

近年、ツキノワグマによる剥皮被害が顕著になってきました。

長野県林業公社に対策を依頼したところ、次の写真のように指導を受け、木曾町福島菅沼公社造林地で作業を行いました。

◎作業工程

造林木にテープ（荷造り用ビニールテープ）を、根元から約150cmの高さまで、15cm間隔で巻く。

1巻で60～80本使用できる。

テープ巻きの状況



紹介

自分の山の木で 家を作る

木祖村のAさんは、定年後の家を現在建築中です。面積は約二十坪で、祖父が植えてくれた七十年以上の木を一部使っています。土台は栗、六寸角の松の大黒柱、七寸巾の栗の化粧梁、トイレや階段の蹴込みはカラマツ

など随所に自分の家の山から出した木を使っています。腰壁には栗・キハダ・クルミなども使っています。また、古い家の材も工夫して使っており、今から先祖に感謝しながら住むのが楽しみな住宅です。

皆様も自分の家



▲大黒柱と梁



▲建築中の家



▲カラマツを使ったトイレ



▲カラマツとヒノキを使った階段

古材（一位の一枚板を使った床の間▼



に一部でも自分の木を使っているか。また、先祖が植えてくれた木を子孫のためにも是非手入れをしましょう。森林組合も応援します。